きれい寂び

人・仕事・作品

井上靖

集英社

きれい寂び　人・仕事・作品

一九八〇年十一月　十　日　第一刷発行
一九八一年二月二十五日　第二刷発行

定　価　一二〇〇円

著　者　井上　靖

発行者　堀内末男

発行所　株式会社集英社
東京都千代田区一ッ橋二―五―一〇
郵便番号　一〇一
電話　出版部二三〇―六三六一
販売部二三八―二七八一

印刷所　大文堂印刷株式会社
検印廃止。乱丁・落丁本はお取替えいたします。
© 1980 Y. INOUE
Printed in Japan 0095―772277―3041

初出紙誌一覧

桑原隲蔵先生と私　岩波版　桑原隲蔵全集月報5　一九六八年一〇月
私にとっての座右の書―石田幹之助著「長安の春」　講談社学術文庫　一九七九年七月一〇日
行けぬ聖地ゆえの情熱―松岡譲著「敦煌物語」　朝日新聞社　一九七九年三月四日
「海軍主計大尉小泉信吉」を読んで　文藝春秋版　小泉信三全集月報9　一九六七年一二月
きれい寂び―「村野藤吾氏の茶室」序　「村野藤吾和風建築集」　株式会社新建築社　一九七八月五月二〇日
上村松篁氏と私　「現代日本画家大系1」
東山魁夷氏の作品　東山魁夷画集「四季」序文　毎日新聞社　一九七四年五月三〇日
東山魁夷氏の〝窓〟　日本美術80号　一九七一年一一月一五日
平山郁夫氏の道　「平山郁夫画集」三彩社　一九七二年九月二〇日
平山郁夫氏と一緒の旅　「平山郁夫素描集　わがシルクロード」　読売新聞社　一九七五年二月
高山辰雄氏のポエジー　芸術新潮　一九七〇年四月
脇田和氏の作品　「脇田和画集」求龍堂　一九七四年一二月
加山又造氏の仕事　「加山又造自選画集」集英社　一九七五年一二月一〇日
西山英雄氏のこと　西山英雄オリジナル石版画集「北陸二景」毎日新聞社　一九七九年五月二五日
福井良之助氏のポエジー　福井良之助画集「窓」実業之日本社　一九五三年六月一〇日
生沢朗氏と私　「生沢朗さし絵画集」光潮社　一九七四年一二月
近藤悠三氏のこと　近藤悠三陶画集「呉須三昧」群青社　一九七二年一月一〇日
菊池さんのこと　毎日新聞　一九六〇年三月五日
秋索索―優れた人生詩人・吉川英治　講談社版　吉川英治全集月報46　一九六九年一一月

深田久弥氏と私　朝日新聞社版「深田久弥　山の文学全集」月報10　一九七四年八月
川端さんのこと　婦人公論　一九六八年一二月
大佛さんの椅子　角川版「昭和文学全集」月報17　一九五三年七月
詩人・福田正夫氏　「福田正夫」小田原市立図書館　一九七一年一二月
牧水の「木枯紀行」　短歌研究　一九七〇年九月
中学時代の友　新潮日本文学44　井上靖集月報5　一九六九年一月

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

著者あとがき

この十数年の間に、尊敬する学者、美術家、文学者等について綴った人物論、作品論といったものが大分の量になりましたので、一冊に編むことにいたしました。人物論、作品論と言っても、正面きったかた苦しいものではありません。小説家としての私の甚だ独断的な人物論であり、作品論であります。中には人物論とも作品論とも言えない、私自身との関係を綴ったに過ぎないものも

あります。

上梓するに当って、読み返してみて、甚だ忸怩たるものあるを覚えますが、敢て一冊の形をとることに踏み切りました。出版に当っては原稿の収集、整理、すべてに亘って集英社文芸出版部の古山登、横山征宏両氏のお世話になりました。厚くお礼申上げます。

――一九八〇年十月六日記す――

きれい寂び

目次

I

桑原隲蔵先生と私……11
私にとっての座右の書——石田幹之助著「長安の春」……19
行けぬ聖地ゆえの情熱——松岡譲著「敦煌物語」……31
「海軍主計大尉小泉信吉」を読んで……35
きれい寂び——「村野藤吾氏の茶室」序……41

II

上村松篁氏と私……63
東山魁夷氏の作品……75

東山魁夷氏の〝窓〟……81
平山郁夫氏の道……85
平山郁夫氏と一緒の旅……97
高山辰雄氏のポエジー……107
脇田和氏の作品……113
加山又造氏の仕事……123
西山英雄氏のこと……131
福井良之助氏のポエジー……135
生沢朗氏と私……139

近藤悠三氏のこと……143

Ⅲ

菊池さんのこと……155
秋索索——優れた人生詩人・吉川英治……159
深田久弥氏と私……165
川端さんのこと……173
大佛さんの椅子……179
詩人・福田正夫氏……183
牧水の「木枯紀行」……187

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

装画　平山郁夫
装丁　後藤市三

きれい寂び

人・仕事・作品

I

此为试读,需要完整PDF请访问: www.ertongbook.com